

# プラットフォームエンジニアになるための5つの方法

プラットフォーム・エンジニアリングは、ソフトウェア開発の自動化と、インフラストラクチャおよび開発者運用 (DevOps) によるシステムの信頼性を組み合わせたものです。このプラットフォーム・エンジニアリングへのシフトは、先進的な IT における重要な知識の移行であり、人材に対する高い需要が見込まれます。プラットフォームエンジニアはセルフサービスツールや内部開発者向けプラットフォームを作成することで組織の能力を倍増させます。ここで作成されるのが、摩擦を排除し、他の開発者がより安全かつ短時間でアプリケーションを構築できるよう支援する「ゴールデンパス」です。

## 1 先進的なアプリケーションのインフラストラクチャ・エンジンについて学ぶ

インフラストラクチャの抽象化を前提として構築されているプラットフォーム・エンジニアリングで成功を収めるには、先進的なアプリケーションを支える基本的なテクノロジーを完全に理解する必要があります。

- ▶ **前進するためのスキル:** Podman によるコンテナ化、および Kubernetes を使用したオーケストレーションに関する専門知識。アプリケーションのデプロイ方法、スケジューラーの仕組み、ネットワークポリシーの適用方法、ストレージボリュームのプロビジョニング方法について学びます。
- ▶ **サポートするテクノロジー:** Red Hat® OpenShift® をインストールします。これは、ソフトウェア・ライフサイクル全体にわたる統合エコシステムを備えたエンタープライズ・アプリケーション・プラットフォームです。
- ▶ **柱となる提案:** レガシーサービスを標準化されたアプリケーション・プラットフォーム上で実行するための移行パスを提案します。これにより、開発チーム全体でスタンドアロンのワークステーション・アプリケーションの問題を排除します。

## 2 CI/CD と GitOps でバリューストリームを自動化する

プラットフォームの主な役割は、コードのコミットから本番環境への一貫したセルフサービスのパスを提供することです。その役割を果たすためには、継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CI/CD) や GitOps に関してエキスパートレベルで習熟している必要があります。

### ▶ 前進するためのスキル:

- ▶ インフラストラクチャやデプロイメントのパイプラインをコードとして扱います。
- ▶ Kubernetes ネイティブの CI/CD、GitLab 継続的インテグレーションについて学びます。
- ▶ GitOps の原則に習熟します。
- ▶ **サポートするテクノロジー:** Red Hat OpenShift Pipelines (Tekton) を使用して信頼性の高い宣言型の CI/CD を実装し、それらをより広範な Red Hat Advanced Developer Suite と統合して、サプライチェーンのセキュリティと開発者のセルフサービスを実現します。
- ▶ **柱となる提案:** チームが使用するための単一の標準化されたパイプライン・テンプレートを導入します。これにより、定型的な作業を削減し、組織全体で一貫したセキュリティと品質チェックを行うことができます。

## 3 開発者のエクスペリエンスを優先する

最良の社内プラットフォームとは、開発者が使いたいと望むプラットフォームです。IT チームの成功は、優れた開発者エクスペリエンス (DX) を提供できるかどうかにかかっています。

### ▶ 前進するためのスキル:

- ▶ デザイン思考、アプリケーション処理インタフェース (API) 設計、使いやすいインタフェースの作成。
- ▶ 実装する Backstage フレームワークについて、および Red Hat Developer Hub を介したその運用方法に関する高度な知識。
- ▶ 内部開発者向けプラットフォームを作成するためのフルサポート付きの統合エンタープライズ製品である Red Hat Developer Hub。

- ▶ **サポートするテクノロジー:**セルフサービスの自動化スクリプト (Bash、Python) や、Red Hat Ansible® Automation Platform などの構成管理に重点を置きます。自動化テクノロジーをサポートする目的は、開発者が環境全体(データベース、監視、アプリケーション・スキャフォールディング)を単一の選択またはコマンドでプロビジョニングできるようにすることです。
- ▶ **柱となる提案:**新しいサービスのゴールデンパスを設計し、実装します。IT 環境に対処し、新しいサービスのセットアップ時間を数日から数分に短縮できる、文書化され、完全に自動化された独自のワークフローを使用します。

## 4 可観測性の考え方を取り入れる

安定したプラットフォームとは、可観測性のあるプラットフォームです。エラーを記録することではなく、組織のシステムの健全性、パフォーマンス、内部ユーザーの行動をリアルタイムで理解することに焦点を移します。

- ▶ **前進するためのスキル:**可観測性の 3 つの柱 (メトリクス、ログ、トレース) を実装します。収集用のツール (Prometheus、Fluentd) や可視化のツール (Grafana、Jaeger) に習熟します。
- ▶ **サポートするテクノロジー:**サービスレベル目標 (SLO) およびサービスレベル指標 (SLI) を定義するスキルを開発します。プラットフォームの信頼性を測定する方法を理解することが、プラットフォームの価値を実証するための鍵となります。

- ▶ **柱となる提案:**あらゆる新サービスで使用できる、自動的に主要な運用メトリクスや SLO の準拠状況を表示する汎用ダッシュボード・テンプレートを構築します。これによって IT 開発者は運用チームの手を借りずにサービスのデバッグや監視を行えます。

## 5 プラットフォームを提案し、文書化する

最も重要なステップは、プラットフォームの価値を経営陣に明確に伝えることです。プラットフォーム・エンジニアリングは、内部開発者向けプラットフォーム (IDP) を製品として扱い、開発者をその主要な顧客として扱うビジネス戦略です。

- ▶ **前進するためのスキル:**プラットフォームの投資対効果 (ROI) を定量化し (デプロイメントまでのリードタイムの短縮など)、組織のサービス所有権の適格性を評価することで、成功するビジネスケースを開発します。
- ▶ **サポートするテクノロジー:**MkDocs や Confluence などの文書化ツールを使用して、プレゼンテーション・スキルを強化します。社内の顧客が IT プラットフォームの機能を把握し、インタフェースを直感的に使用し、導入までのゴールデンパスを理解していれば、その IT プラットフォームは最大限の価値を実現できます。
- ▶ **柱となる提案:**専任のプラットフォーム製品チームを主導し、ビジネス成果を加速するための簡潔なロードマップを提示して、このイニシアチブを推進できる態勢を整えます。

### エキスパートからプラットフォームエンジニアになるメリットを知る

Red Hat OpenShift と Red Hat Advanced Developer Suite は、組織のソフトウェア開発ライフサイクル全体に対応するプラットフォーム・エンジニアリング・ソリューションを提供します。その詳細について、Red Hat の [プラットフォーム・エンジニアリング](#) のページにアクセスしてご覧ください。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052

f [fb.com/RedHatJapan](https://www.facebook.com/RedHatJapan)  
x [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)  
in [linkedin.com/company/red-hat](https://www.linkedin.com/company/red-hat)

jp.redhat.com  
#3358904\_0126

Copyright © 2026 Red Hat. Red Hat, Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat またはその子会社の商標または登録商標です。